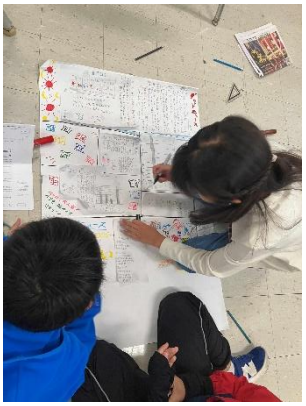
ニューヨーク補習校だより

令和８年（2026 年）10 月 10 日　　第 11 号　　校長 河村　武磨

学習の秋！芸術の秋！

秋が次第に深まる中、各教室では充実した学習活動が行われています。

W校初等部４年では、国語の学習で新聞を作っていました。ねらいは「見せ方を工夫して書こう。」です。子どもたちはグループで協力し、見出しの言葉や字の大きさ・色を変えるなどして、読みたくなるような新聞を作っていました。



また、６年では、算数「データの調べ方」の学習で、統計的な手法を学びました。グループで協力してデータを図やグラフ化して分析し、特徴を見つけていきました。どちらの学年も友だちと学び合うことで、良いアイディアが生まれ学びが深まりました。

LI 校では、秋の音読発表会が始まりました。最初は 6 年生からです。発表したのは、福沢諭吉の「天地の文」です。新しい生活の基本となる時間や暦の仕組みと、時間を大切に生きるべきだという人生の教訓が七五調の文章で書かれています。長い文章ですが、さすが 6 年生、すべて暗記して、リズミカルに音読してくれたため、内容が良く伝わってきました。



幼児部年長さんでは、歌のイメージを絵で表現しました。「どんぐりころころ」の歌を歌ったあと、どんぐりとドジョウが遊ぶ様子を折り紙や切り絵で表現しました。池やどんぐりをすきな形や大きさで作り、台紙に張り付けました。出来上がった作品には、どんぐりとドジョウが楽しそうに遊んでいる様子が表されていて、その子なりの工夫と個性が感じられました。



そして、どちらの学校でも、校内絵画コンクールの入選作品を掲示し鑑賞しました。休み時間になるとたくさんの子どもたちが絵を取り囲み作品に見入っていました。それぞれの作品からは、描いた人が何についてどのように感じたのか、形や色遣いを通して伝わってきました。





ニューヨーク補習校では運動の秋に続き、学習の秋、芸術の秋、と充実した秋を過ごしています。